



立川市下水道事業における ウォーターPPP導入の検討について

令和8年1月30日

立川市 環境資源循環部 下水道施設課

- 01 はじめに
- 02 立川市下水道事業の概要
- 03 立川市下水道事業の現状と課題
- 04 ウォーターPPPの概要
- 05 現状で想定する事業スキーム(案)
- 06 今後のスケジュール(案)

▶▶ 01 はじめに

02 立川市下水道事業の概要

03 立川市下水道事業の現状と課題

04 ウォーターPPPの概要

05 現状で想定する事業スキーム(案)

06 今後のスケジュール(案)

本説明会の趣旨

本市では、現在、下水道事業における官民連携(ウォーターPPP)の導入可能性について検討しています。

本説明会は、官民連携事業(ウォーターPPP)の導入を検討するにあたり、本市下水道事業の概要や課題、現時点での想定スキーム案を提示した上で、民間事業者の皆様の参入意向や事業内容等に対する考えを把握し、今後の検討に活用することを目的としています。

ご注意

本説明会及び配布資料の内容は、現時点での想定案であり、官民連携事業の実施を含め、事業内容等は、いずれも確定した内容ではありません。

01 はじめに

▶▶ 02 立川市下水道事業の概要

03 立川市下水道事業の現状と課題

04 ウォーターPPPの概要

05 現状で想定する事業スキーム(案)

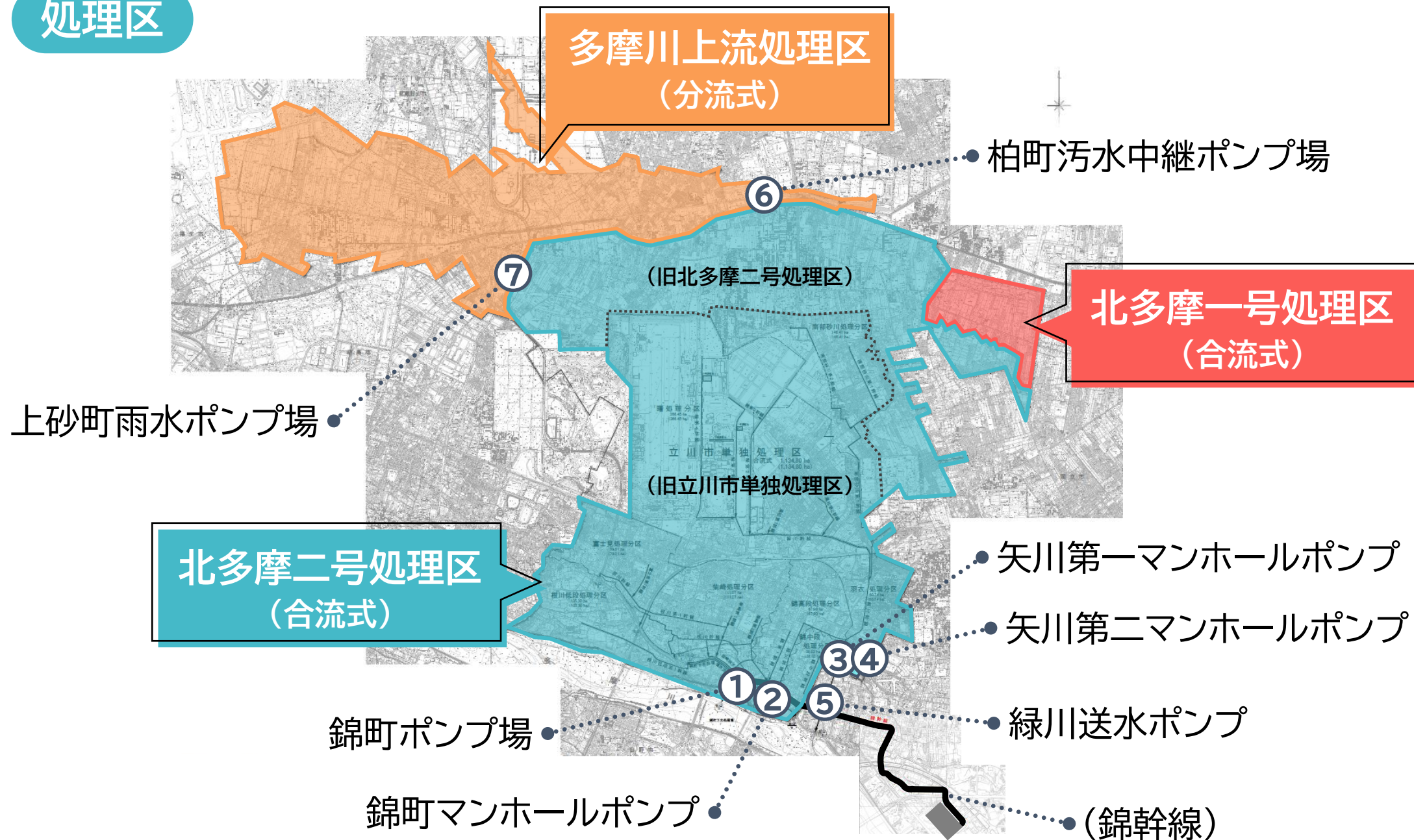
06 今後のスケジュール(案)

昭和30年	6月	立川市単独処理区事業着手
昭和42年	10月	立川市単独処理区錦町下水処理場供用開始
昭和52年	6月	多摩川上流処理区事業着手（雨水・汚水）
昭和54年	7月	多摩川上流処理区供用開始
	9月	北多摩一号処理区事業着手
昭和55年	6月	北多摩二号処理区事業着手
昭和57年	6月	北多摩一号処理区供用開始
昭和58年	9月	柏町汚水中継ポンプ場運転開始
平成元年	4月	北多摩二号処理区供用開始
平成4年度		立川公園根川緑道のせせらぎ（アクアパークモデル事業認可）
平成6年度		汚水処理人口普及率100%を達成
平成14年	4月	上砂町雨水ポンプ場運転開始
平成24年	12月	流域編入事業着手（基本協定締結）
令和元年	10月	空堀川排水区事業着手（令和元年10月 流域下水道事業計画変更）
令和2年	4月	公営企業会計へ移行
令和6年	3月	単独処理区を北多摩二号処理区（流域関連公共下水道）へ編入

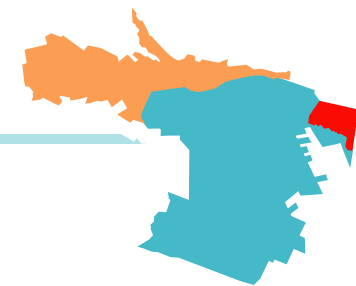
02 立川市下水道事業の概要

Tachikawa City

処理区



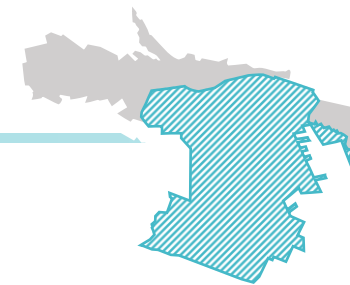
02 立川市下水道事業の概要



処理区の詳細

処理区	北多摩一号処理区	北多摩二号処理区	多摩川上流処理区
事業区分	流域関連公共下水道	流域関連公共下水道	流域関連公共下水道
供用開始 年度	S57	旧単独処理区 - S35 旧錦町下水処理場 - S42	S54
終末処理場	北多摩一号水再生 センター（府中市）	北多摩二号水再生 センター（国立市）	多摩川上流水再生 センター（昭島市）
排除方式	合流式	合流式	分流式
処理人口	7,124人（4%）	138,882人（75%）	37,917人（21%）
普及率	100%	100%	100%
水洗化率	99%	99%	99%
計画面積	69ha	1,683ha	526ha
整備面積	69ha	1,630ha	汚水 - 476ha 雨水 - 174ha

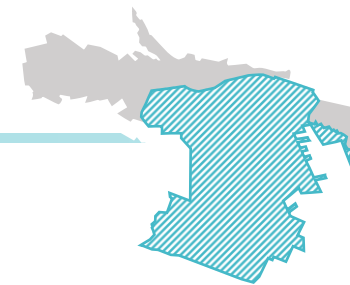
02 立川市下水道事業の概要



施設概要（ポンプ場）（1/4）

処理区	北多摩二号処理区	
施設	① 錦町ポンプ場	
排除方式	合流式	
能力	送水施設（自然流下方式） ・ 最大送水量 （晴天時） 57,030m ³ /日 （雨天時） 256,000m ³ /日	雨水ポンプ ・ $\phi 1,200\text{mm} \times 198\text{m}^3/\text{分} \times 5\text{台}$
稼働開始	R5年度	S42年度
R6実績	年間送水量：20,157,109m ³ /年 平均送水量：55,225m ³ /日	年間放流量：641,100m ³ /年
備考	旧錦町下水処理場（R5年度に流域編入）	

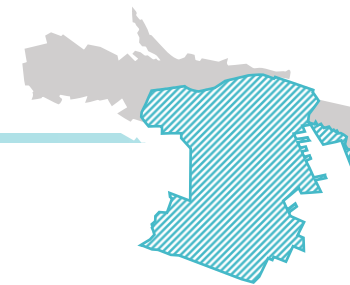
02 立川市下水道事業の概要



施設概要（ポンプ場）（2/4）

処理区	北多摩二号処理区	
施設	② 錦町マンホールポンプ	③ 矢川第一マンホールポンプ
排除方式	合流式	合流式
能力	$\phi 100\text{mm} \times 3.7\text{kW} \times 0.6\text{m}^3/\text{分} \times 2\text{台}$	$\phi 100\text{mm} \times 3.7\text{kW} \times 0.5\text{m}^3/\text{分} \times 2\text{台}$
稼働開始	S52年度	S53年度
R6実績	年間揚水量：5,699 $\text{m}^3/\text{年}$	年間揚水量：2,075 $\text{m}^3/\text{年}$
備考	R6年度ポンプ更新	R6年度ポンプ更新

02 立川市下水道事業の概要



施設概要（ポンプ場）（3/4）

処理区	北多摩二号処理区	
施設	④ 矢川第二マンホールポンプ	⑤ 緑川送水ポンプ
排除方式	合流式	合流式
能力	$\phi 65\text{mm} \times 1.5\text{kW} \times 0.29\text{m}^3/\text{分} \times 2\text{台}$	$\phi 80\text{mm} \times 3.7\text{kW} \times 0.5\text{m}^3/\text{分} \times 2\text{台}$
稼働開始	H5年度	H26年度
R6実績	年間揚水量：2,395 m^3 /年	年間送水量：59,878 m^3 /年
備考	R6年度ポンプ更新	ポンプ所在地は国立市内

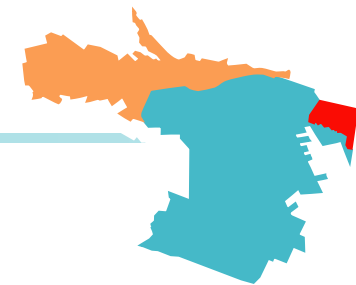
02 立川市下水道事業の概要



施設概要（ポンプ場）（4/4）

処理区	多摩川上流処理区	
施設	⑥ 柏町污水中継ポンプ場	⑦ 上砂町雨水ポンプ場
排除方式	分流式（污水）	分流式（雨水）
能力	4.4m ³ /分 (2.2m ³ /分 × 3台、6,336m ³ /日)	212.4m ³ /分（計画394.8m ³ /分） ・φ500mm × 30m ³ /分 × 1台 ・φ1,200mm × 182.4m ³ /分 × 1台
稼働開始	S58年度	H14年度
R6実績	年間揚水量：685,417m ³ /年 平均揚水量：1,877m ³ /日	年間排水量：82,112m ³ /年
備考	残堀川幹線へ接続 (多摩川上流幹線)	

02 立川市下水道事業の概要



施設概要（管路）

R7.4.1現在

処理区		北多摩一号処理区	北多摩二号処理区	多摩川上流処理区
排除方式		合流式	合流式	分流式
管 々 よ	総数	14,001m	363,442m	130,514m
	(合流)	(13,884m)	(335,547m)	(－)
	(汚水)	(117m)	(10,628m)	(106,375m)
	(雨水)	(－)	(17,267m)	(24,139m)
人孔		425基	11,221基	4,034基
公共ます		2,054箇所	49,647箇所	10,330箇所

01 はじめに

02 立川市下水道事業の概要

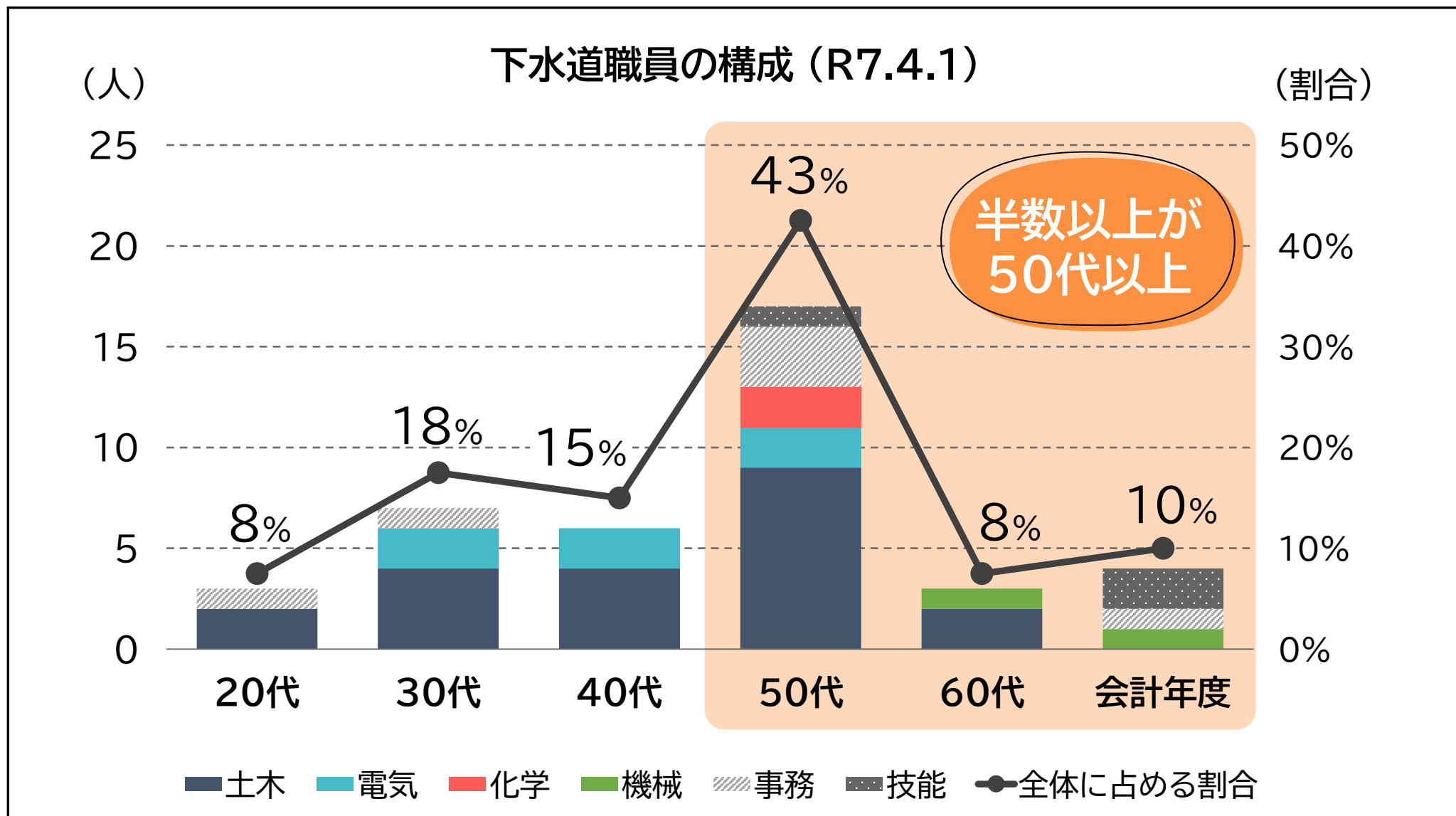
▶▶ 03 立川市下水道事業の現状と課題

04 ウォーターPPPの概要

05 現状で想定する事業スキーム(案)

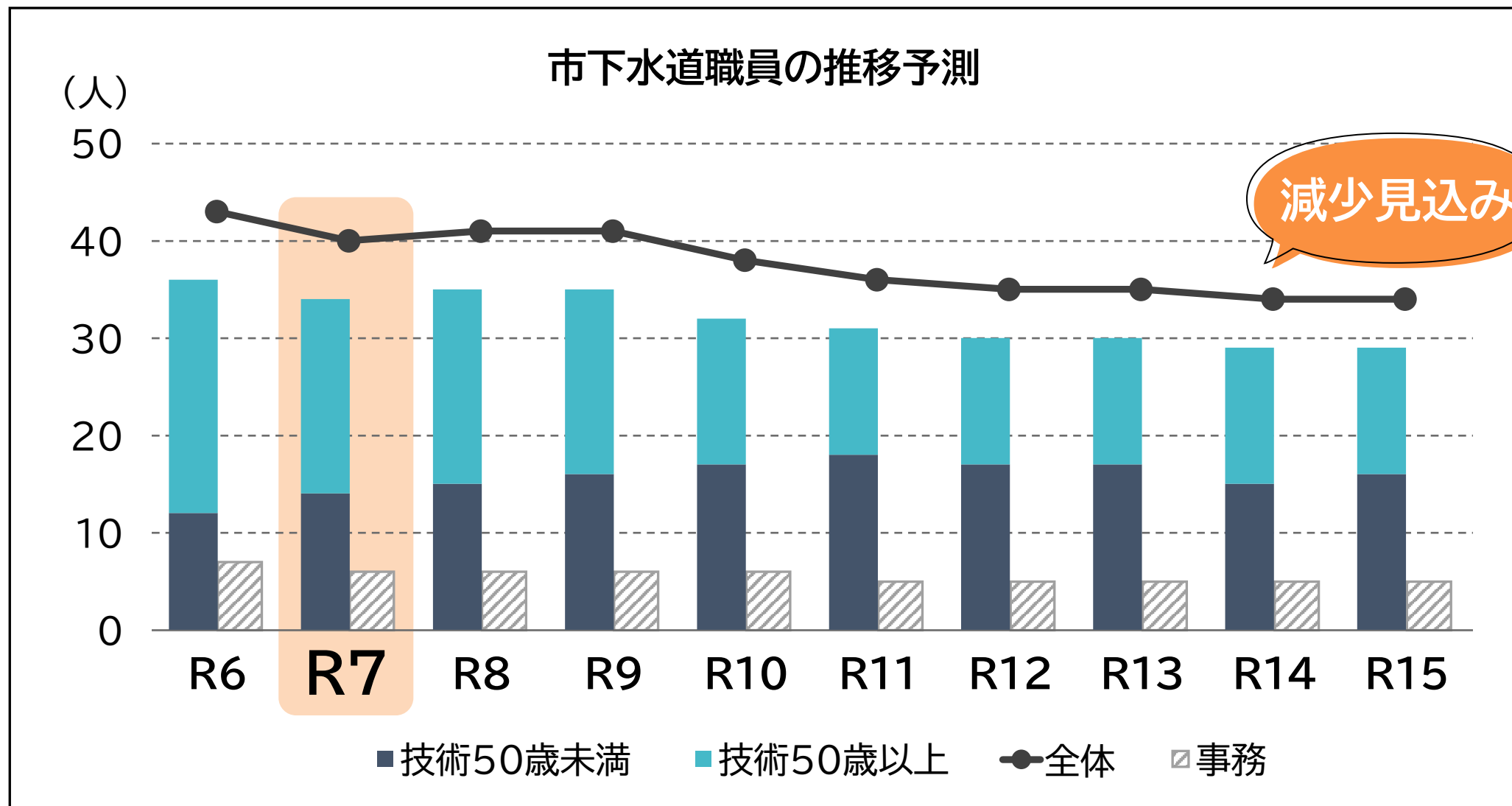
06 今後のスケジュール(案)

市下水道職員の現状



市下水道職員の将来予測

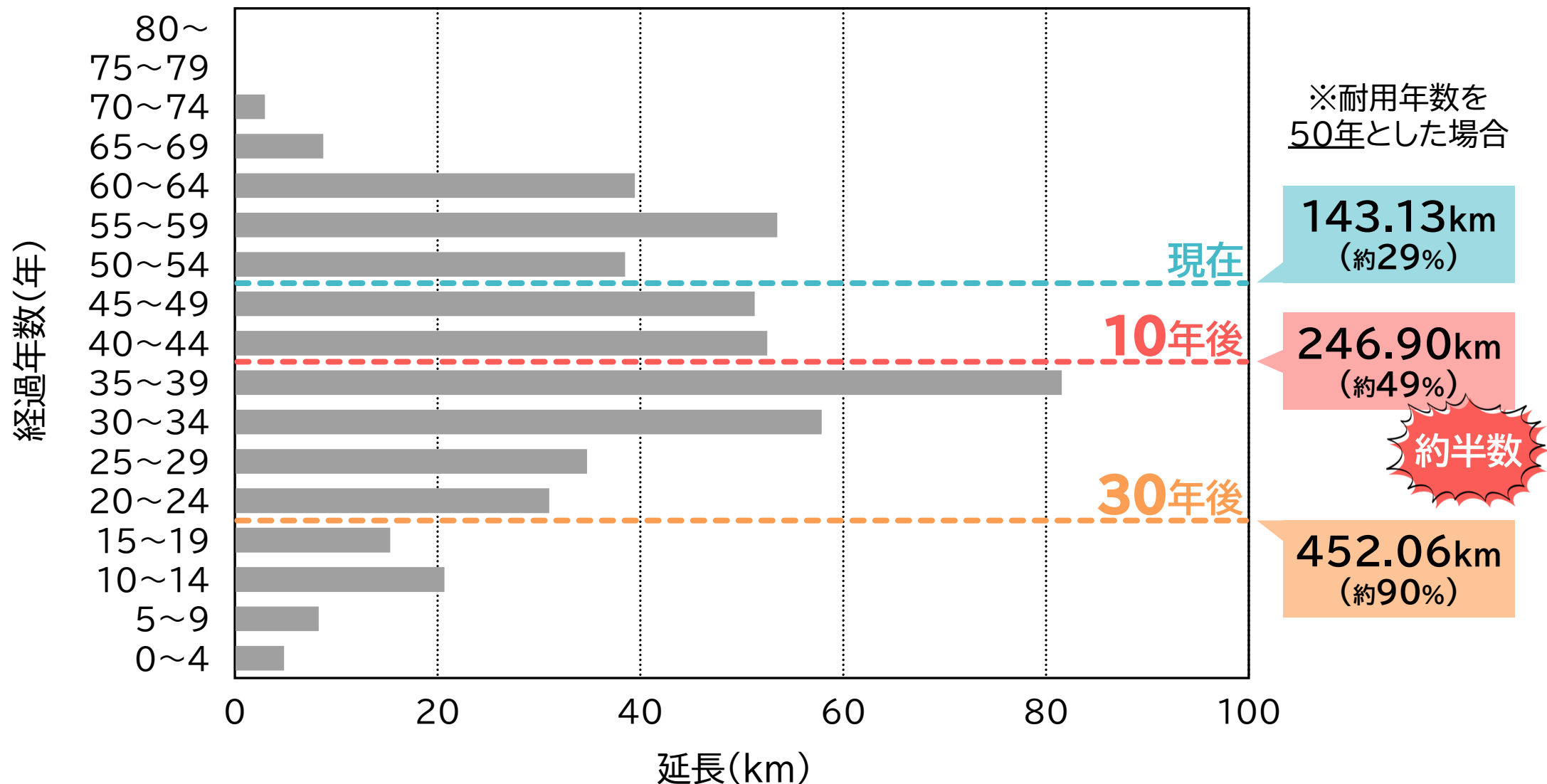
※R7年度までの実績を基に市で推測



民間事業者においても、技術者の確保が困難になってきている

管路の現状と将来

管きよの布設(更新)からの経過年数

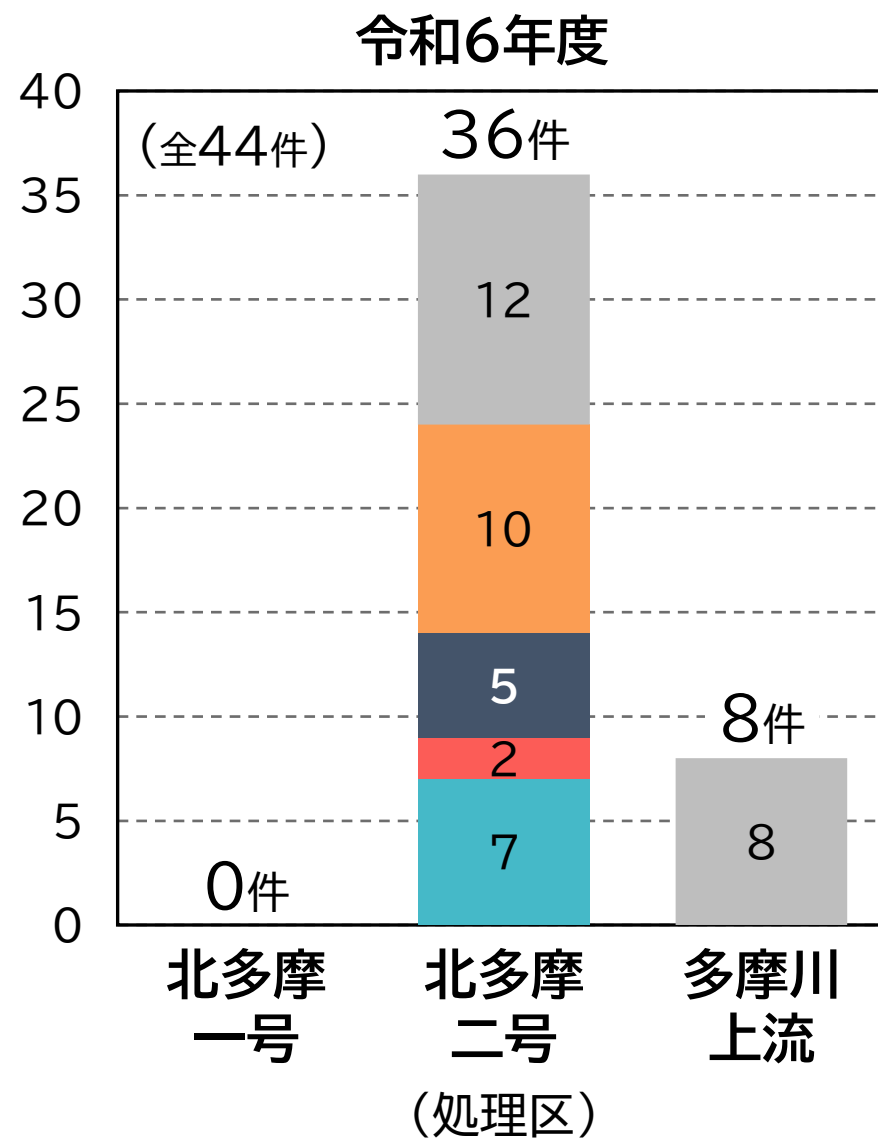
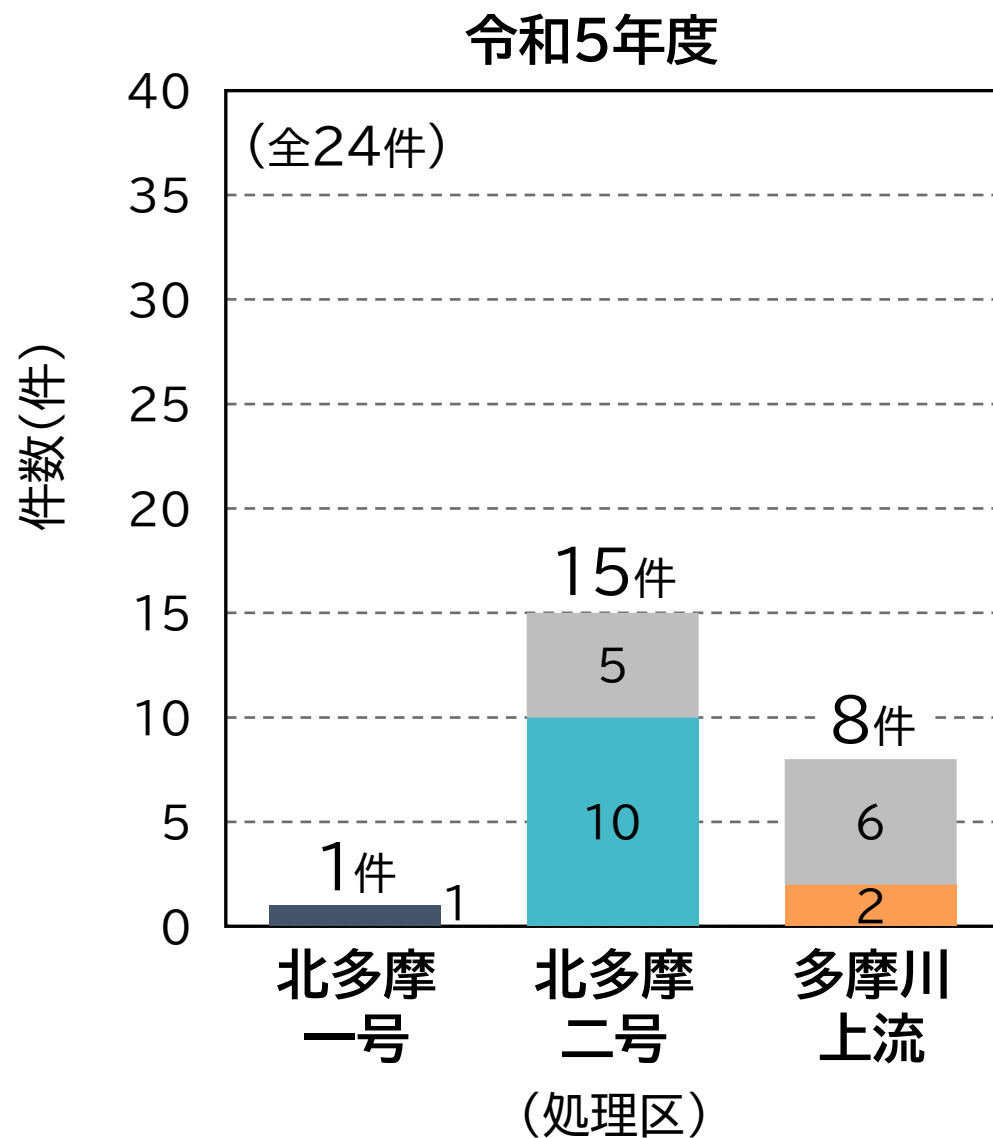


03 立川市下水道事業の現状と課題 〈モノ〉

Tachikawa City

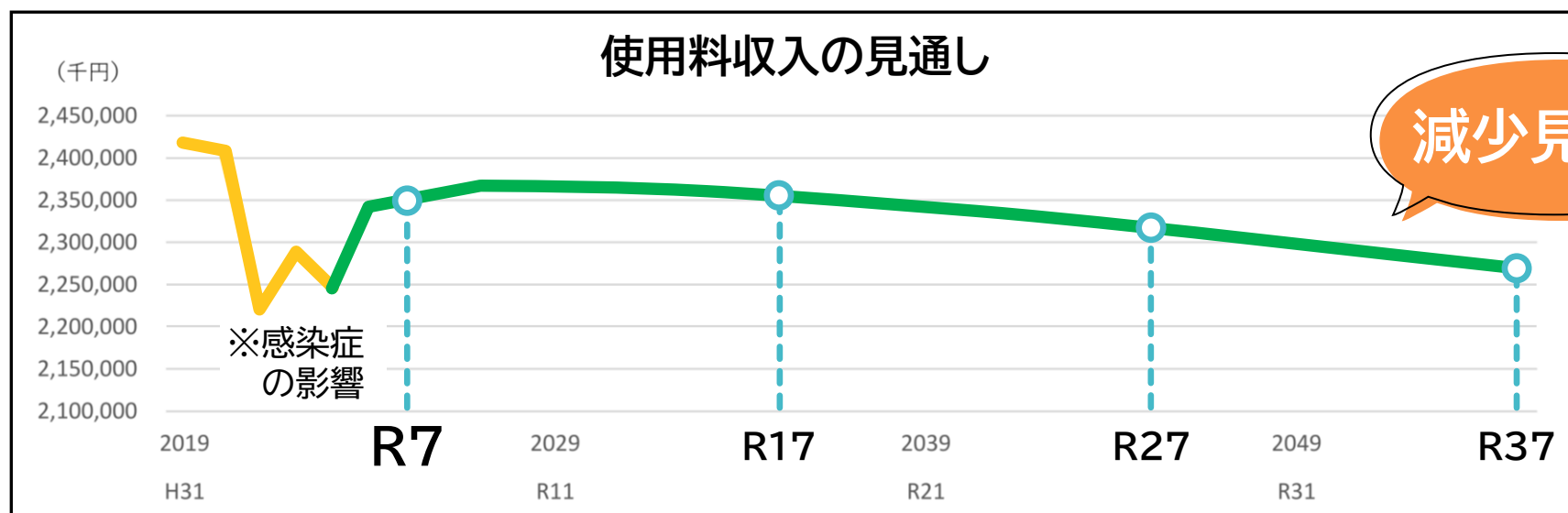
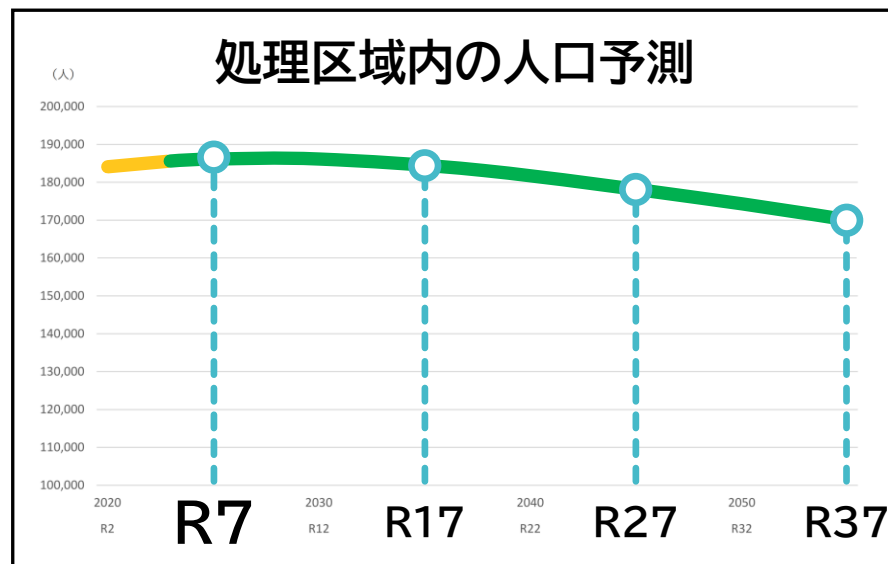
管路の苦情件数

■ 悪臭・異臭 ■ 破損 ■ 閉塞 ■ 蓋ガタツキ ■ その他 ※



※その他：路面凹凸、取付管不良、害虫発生 等

市下水道経営の現状・将来



ヒト

- 職員数の減少による一人当たりの業務量の増加
- ベテラン職員の退職による技術継承の担い手不足
- 市全体として技術職の確保が困難

職員数の確保

モノ

- 施設の老朽化による維持管理業務の増加
- 老朽化した管きよの損傷による不明水量の増加、道路陥没等のリスクの増加

老朽化への対応

カネ

- 人口の減少、節水型機器の導入による使用料収入の減少
- 次世代に負担を先送りしないため、経営改善や国費等の確保、適正な受益者負担を図る必要がある

効率的な運営、
財源の確保

03 立川市下水道事業の現状と課題 〈課題の解決方法〉

Tachikawa City

下水道の広域化・共同化

- 下水汚泥の共同処理
- 他市との維持管理業務の共同化
- ICT活用による他市施設との集中管理



困難

- 他市の施設規模や老朽化の程度、管理方法の違い、市の考え方など足並みを揃えることが困難
- 市単独の下水処理を流域下水道に編入済み

下水道と他事業の共同化

- 道路整備事業等との連携



困難

- 担い手となる専門業者が異なる

デジタル技術の活用

- 排水設備届出・申請の電子化
- AIを活用した施設の運転支援
- ICTを活用した下水道施設の状況把握
- ドローンによる下水道施設の点検・調査



有効

- 業務の省力化・省人化
- 計画的・効率的・効果的な施設の管理・更新
- 業務効率化による管理費用の削減

+ 民間技術の活用

民間活力の活用

- 官民連携(PPP/PFI)の導入



有効

- 官民で得意とする業務を分担し人材を有効活用
- 民間の創意工夫の促進
- 計画的・効率的・効果的な施設の管理・更新

01 はじめに

02 立川市下水道事業の概要

03 立川市下水道事業の現状と課題

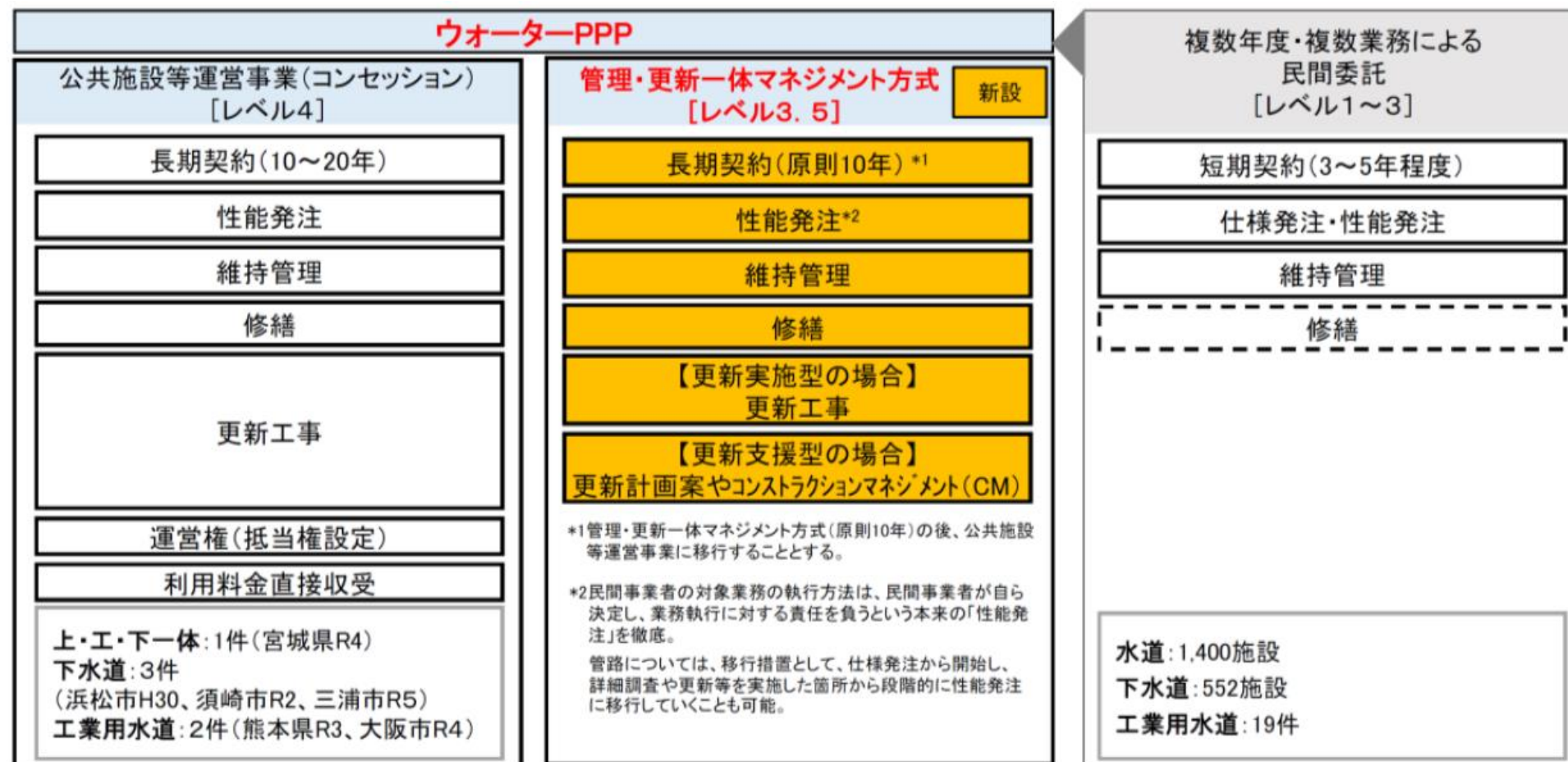
▶▶ 04 **ウォーターPPPの概要**

05 現状で想定する事業スキーム(案)

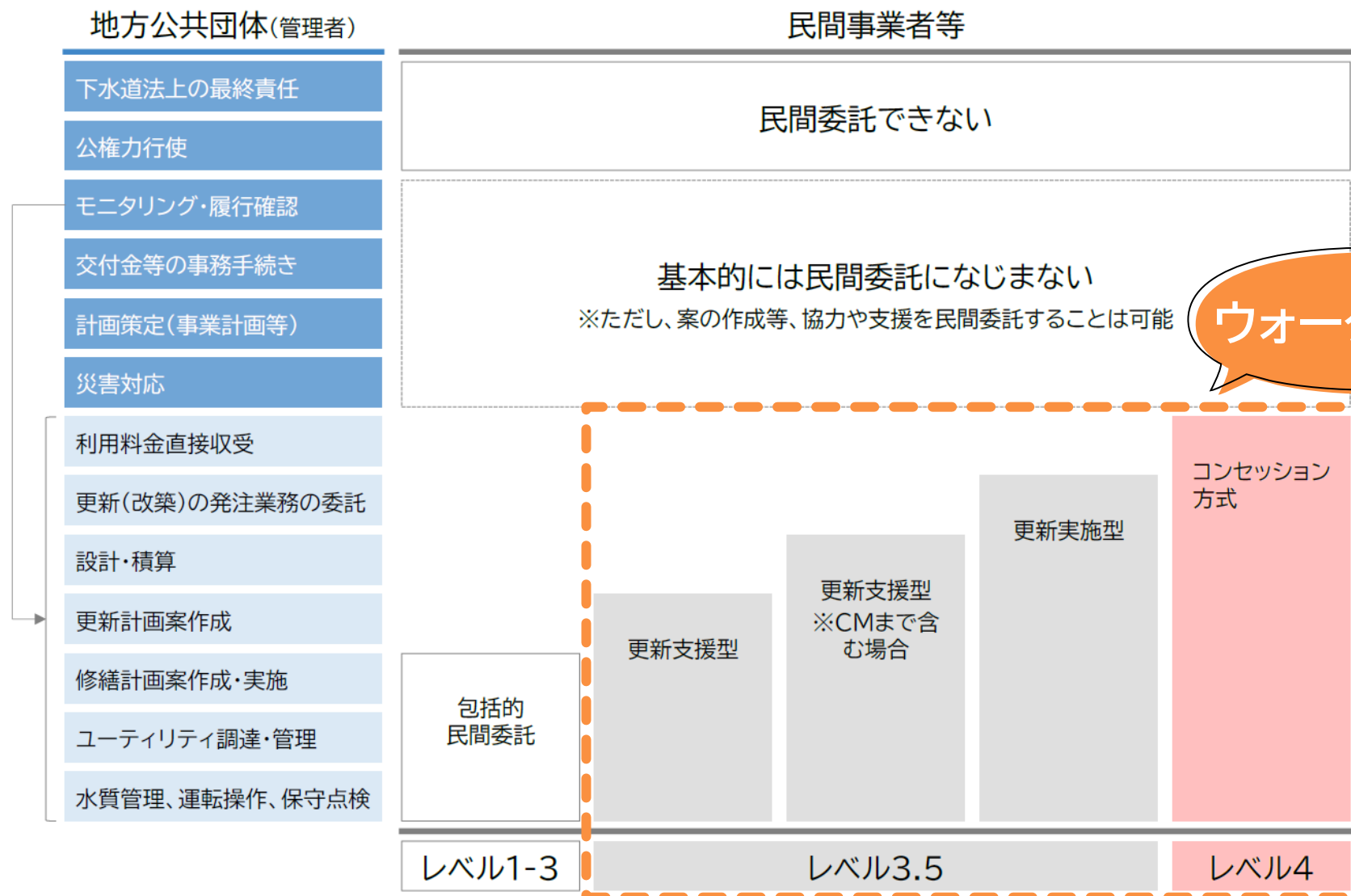
06 今後のスケジュール(案)

ウォーターPPPの要件

ウォーターPPPは、コンセッション方式（レベル4）と、管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）の総称である。



ウォーターPPPの要件



ウォーターPPPの要件

● 長期契約

契約期間は、企業の参画意欲、地方公共団体の取組やすさ、スケールメリット、投資効果の発現、雇用の安定、人材育成等を総合的に勘案し、**原則10年**とする。

● 性能発注

性能発注を原則とする。

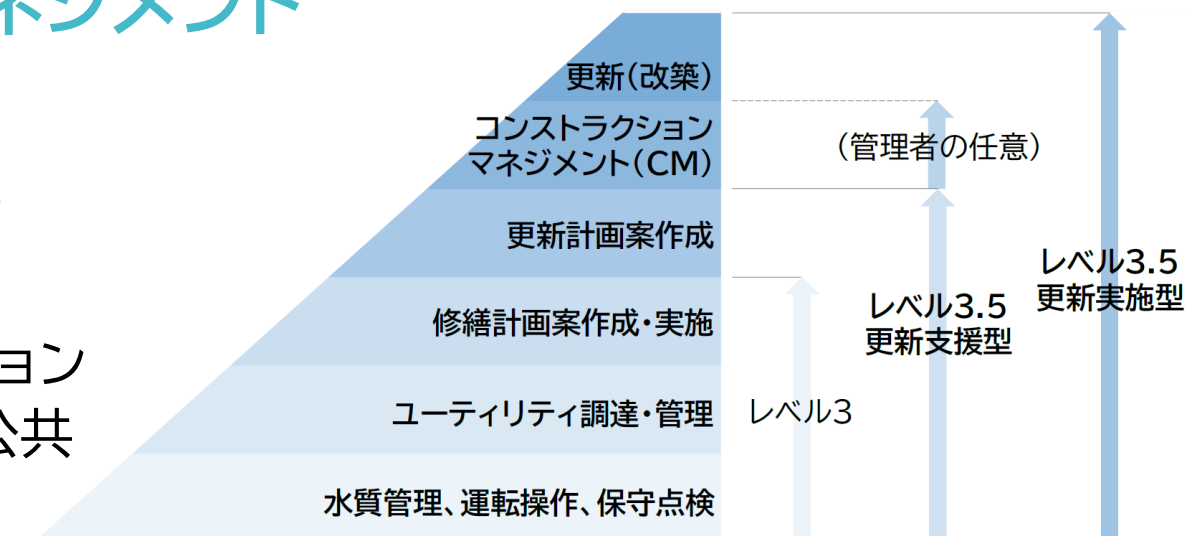
ただし、管路については、移行措置として、仕様発注から開始し、詳細調査や更新等を実施した箇所から段階的に性能発注に移行していくことも可能。

- 仕様発注 … 発注者が詳細な仕様を規定し、受注者はその仕様に基づいて業務を実施する
- 性能発注 … 発注者が求める機能や性能を提示し、受注者は自らの技術や創意工夫によりその性能を達成する

ウォーターPPPの要件

● 維持管理と更新の一体マネジメント

- **更新実施型**
維持管理と更新を一体的に実施。
- **更新支援型**
更新計画の作成やコンストラクションマネジメント（CM）により地方公共団体の更新を支援する。



● プロフィットシェア

事業開始後もライフサイクルコスト縮減の提案を促進するためプロフィットシェアの仕組みを導入することが必要。

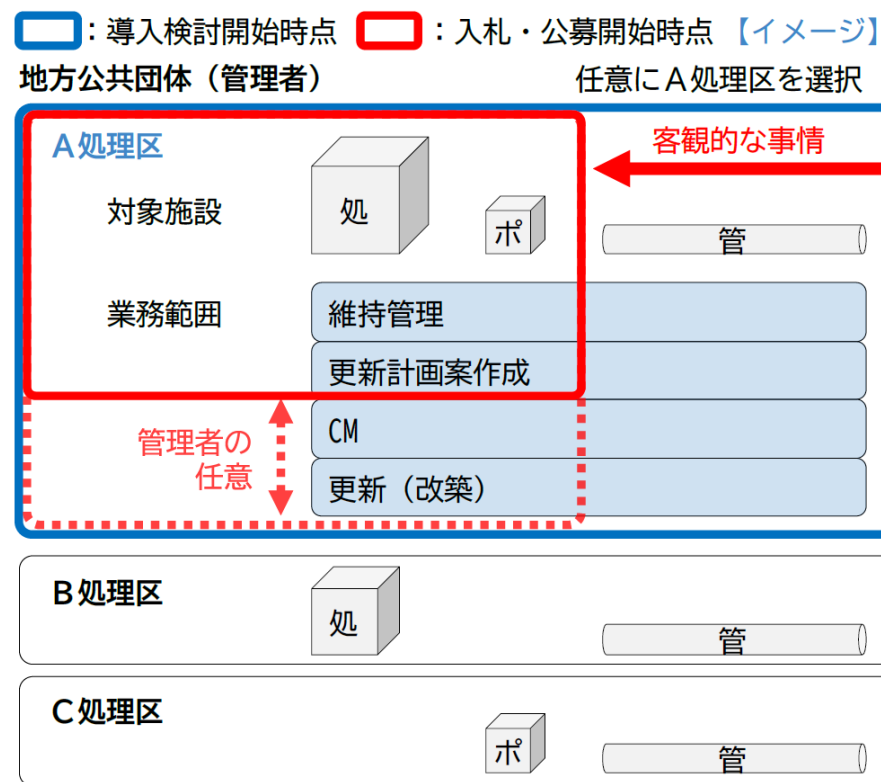
対象施設

まずは少なくとも一つの処理区を選択し、そのすべての施設について、維持管理と更新(改築)の一体的なマネジメントの観点から関係するすべての業務を念頭に置いて、導入検討を開始する。

〈 導入検討を開始する処理区を選択 〉



〈 対象施設・業務範囲設定の考え方(一例) 〉



関連情報のご案内

- 立川市下水道事業における官民連携(ウォーターPPP)勉強会資料

<https://www.city.tachikawa.lg.jp/kurashi/suido/1002266/1020607/1025152.html>

- 国土交通省「下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン 第2.0版」

https://www.milt.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000585.html

01 はじめに

02 立川市下水道事業の概要

03 立川市下水道事業の現状と課題

04 ウォーターPPPの概要

▶▶ 05 現状で想定する事業スキーム(案)

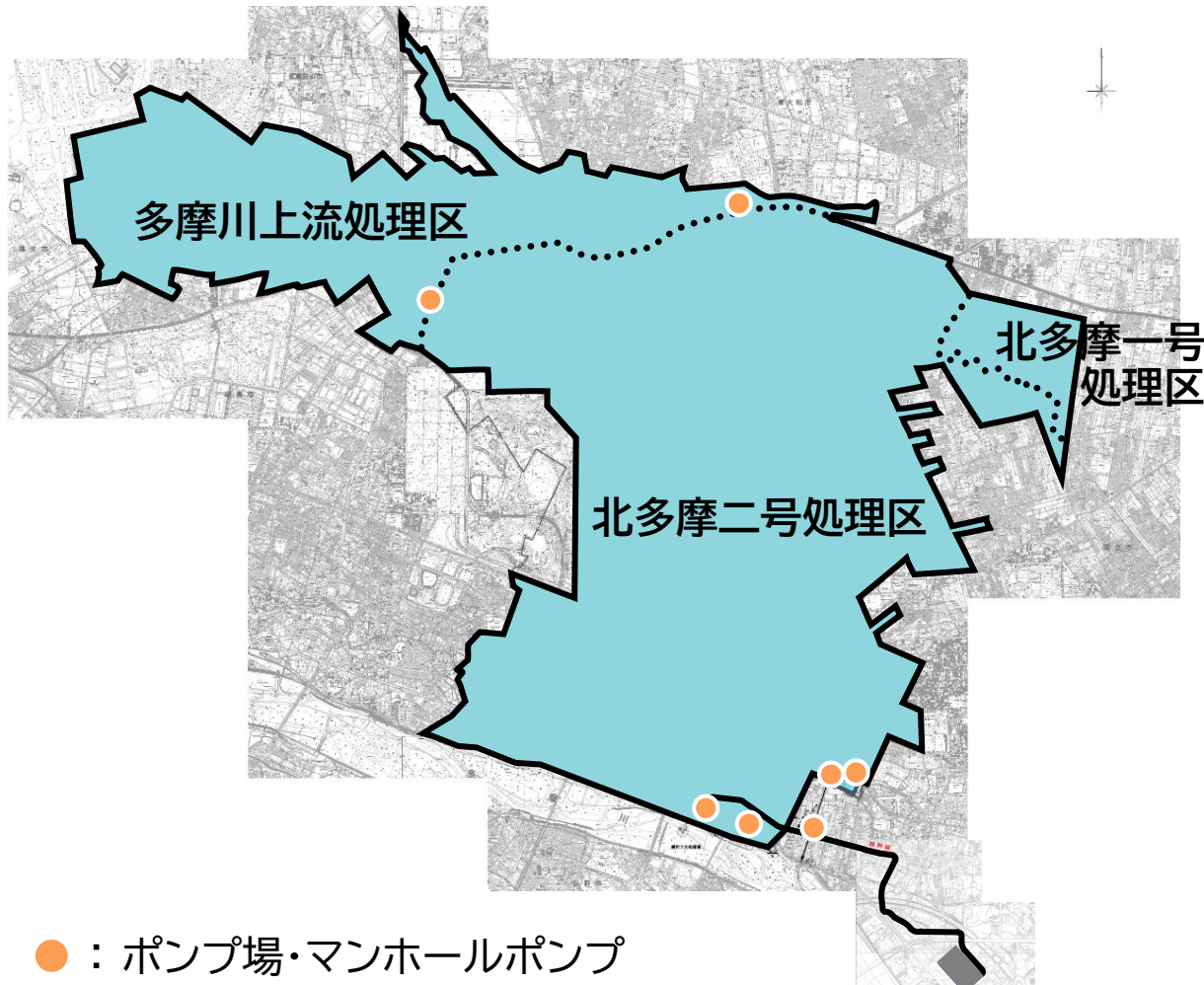
06 今後のスケジュール(案)

05 現状で想定する事業スキーム(案)

Tachikawa City

対象処理区と対象施設

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます



対象処理区 / 全処理区

(または一部)

- 北多摩一号処理区
- 北多摩二号処理区
- 多摩川上流処理区

対象施設 / 全施設 (または一部)

- ポンプ場 - 3箇所
- マンホールポンプ - 4箇所
- 管きよ - 507,957m
- 人孔 - 15,680基
- 公共ます - 62,031箇所

05 現状で想定する事業スキーム(案)

対象業務 (1/2)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

項目	業務内容	
	ポンプ場・マンホールポンプ	管路
1 管理・調整業務	統括管理	統括管理
2 運転(施設)管理	施設の運転操作、日常点検、ポンプ警報対応等	管きよ等の清掃
3 保守点検	設備点検、各種分析測定	管きよ等の巡視点検、工事事前・事後調査
4 廃棄物処理	運転に伴う沈砂・し渣等の処理	清掃に伴う汚泥処理
5 ユーティリティ調達・管理	光熱水費・薬品等消耗品調達	—
6 調査	健全度調査	人孔点検調査、TVカメラ調査等
7 改築計画案作成	ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築計画	ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築計画の更新

05 現状で想定する事業スキーム(案)

対象業務 (2/2)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

項目	業務内容	
	ポンプ場・マンホールポンプ	管路
8 修繕	施設・設備修繕	管きよ、人孔、取付管修繕等
9 設計・積算支援	設備更新工事の設計・積算	改築・更新工事の実施設計
10 更新工事	設備更新工事	人孔蓋取替、管更生、管更新等
11 利用料金収受	料金徴収	料金徴収
12 緊急対応	※「2 運転管理」に含む	現場確認、緊急清掃、TVカメラ調査等
13 敷地管理	敷地内の植栽管理	管理用地の除草

対象業務の詳細についてのご注意

- 概算事業費

R7年度予算を基に算出しています。ただし、実績がない業務の事業費は、概算事業量から試算した見込み額になります。
(物価変動等は考慮していません)

- 概算事業量

過年度の実績を基に算出しています。ただし、実績がない業務の事業量は、見込みになります。

05 現状で想定する事業スキーム(案)

ポンプ場の対象業務 (1/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	1 管理・調整業務	2 運転(施設)管理 ※緊急対応含む
業務名	統括管理	施設の運転管理・緊急対応
業務内容	各種業務の管理、市との調整	運転操作、日常点検、緊急対応
10年間の概算事業費	未定	18億6,780万円
概算事業量	未定	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場・マンホールポンプの24時間監視及び運転操作 ・日常点検、巡回点検 ・電気工作物(電気主任) ・雨天時対応 ・緊急対応 ・軽微な修繕 ・消耗品交換

05 現状で想定する事業スキーム(案)

ポンプ場の対象業務 (2/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

3 保守点検		
業務名	設備点検	各種分析測定
業務内容	機械・電気設備等の点検	臭気測定、雨天時排出水水質分析等
10年間の概算事業費	4億5,006万円	829万円
概算事業量	<ul style="list-style-type: none"> ・電気設備・消防設備 - 〈錦・柏・上砂P場〉1回/年 ・機械設備 - 〈上砂P場〉1回/年 ・地下タンク - 〈錦・上砂P場〉1回/年 ・雨量計 - 〈市本庁舎〉1回/年 ・ディーゼルエンジン・雨水ポンプ・空調設備 - 〈錦P場〉1回/年 ・空気ボンベ検査 - 〈錦P場〉1回/3年 	<ul style="list-style-type: none"> ・臭気測定 - 1回/年 ・雨天時排出水分析 - 1回/年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

ポンプ場の対象業務 (3/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	4 廃棄物処理	5 ユーティリティ調達・管理
業務名	収集運搬・処分	光熱水費
業務内容	池清掃、沈砂・し渣等の処理	上下水道、都市ガス、電気、電話回線等
10年間の概算事業費	2億1,042万円	6億633万円
概算事業量	<ul style="list-style-type: none"> • 汚泥 - 46.4t/年 • 沈砂 - 65.2t/年 • し渣 - 21.5t/年 • 廃油 - 3,000L/年 • 場内廃棄物 - 1.3t/年 • 池槽清掃 - 〈錦P場〉1回/月、〈柏P場〉2回/年、〈上砂P場〉1回/年 • 清掃に伴う汚泥 - 46.39t/年 	<ul style="list-style-type: none"> • 上下水道 - 各P場 (計3件) • 都市ガス・電話料 - 錦P場 • 電気 - 各P場・MP場 (計9件) • 電話回線占用料 - 各P場・MP場 (計8件)

05 現状で想定する事業スキーム(案)

ポンプ場の対象業務 (4/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

5 ユーティリティ調達・管理		
業務名	消耗器材調達	燃料調達
業務内容	潤滑油、機械・電気消耗品、その他材料	軽油、重油、ガソリン、軽油引取税
10年間の概算事業費	1,951万円	2,532万円
概算事業量	<ul style="list-style-type: none">・潤滑油 - 600L/年・機械・電気消耗品 - 45件/年	<ul style="list-style-type: none">・軽油 - 100L/年・重油 - 6,000L/年・ガソリン - 100L/年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

ポンプ場の対象業務 (5/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	5 ユーティリティ調達・管理	6 調査
業務名	活性炭交換	健全度調査
業務内容	脱臭装置活性炭交換	土木・建築調査
10年間の概算事業費	1,749万円	715万円 (国費導入予定)
概算事業量	<ul style="list-style-type: none"> ・〈錦P場〉1回/5年 ・〈柏P場〉2回/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・土木 - 〈各P場〉1回/30年 ・建築 - 〈各P場〉1回/10年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

ポンプ場の対象業務 (6/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	7 改築計画案作成	8 修繕
業務名	修繕・改築計画	施設・設備修繕
業務内容	ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築計画	建物修繕・機械・電気設備修繕
10年間の概算事業費	未定 (国費導入予定)	2億245万円
概算事業量	未定	<ul style="list-style-type: none">・建物修繕 - 30件/年・機械・電気修繕 - 10件/年

ポンプ場の対象業務 (7/7)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

「9設計・積算支援」「10更新工事」「11利用料金収受」は対象外

	12 緊急対応	13 敷地管理
業務名	緊急対応	植栽管理
業務内容	緊急対応	敷地内の植栽管理
10年間の概算事業費	※「2 運転管理」に含む	3,630万円
概算事業量	※「2 運転管理」に含む	・〈各P場〉2回/年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

管路の対象業務 (1/6)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	1 管理・調整業務	2 運転(施設)管理
業務名	統括管理	清掃
業務内容	各種業務の管理、市との調整	管きよ等の清掃
10年間の概算事業費	未定	9億4,700万円
概算事業量	未定	<ul style="list-style-type: none"> ・管きよ - 1,790m/年 ・雨水ます - 25,770箇所/年 ・雨水浸透施設 - 19箇所/年 ・伏越 - 16箇所/年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

管路の対象業務 (2/6)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	3 保守点検	4 廃棄物処理
業務名	巡視点検	収集運搬・処分
業務内容	巡回点検、定期点検、工事事前・事後点検(取付管TVカメラ調査)	清掃に伴う汚泥処理
10年間の概算事業費	未定	1億6,200万円
概算事業量	<ul style="list-style-type: none">・巡回点検・定期点検 - 26箇所/年、1箇所/月・取付管TVカメラ調査 - 150日/年 (300回/年・1,600箇所/年)	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 - 476t/年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

管路の対象業務 (3/6)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

「5ユーティリティ調達・管理」は対象外

	6 調査	7 改築計画案作成
業務名	点検調査	修繕・改築計画の更新
業務内容	人孔目視調査、TVカメラ調査等	ストックマネジメント計画に基づく修繕・改築計画の更新
10年間の概算事業費	14億6,400万円 (国費導入予定)	7,000万円 (国費導入予定)
概算事業量	<ul style="list-style-type: none">人孔目視調査 - 1,072箇所/年TVカメラ点検 - 21,737m/年潜行目視調査 - 10,253m/年	<ul style="list-style-type: none">1回/5年

05 現状で想定する事業スキーム(案)

管路の対象業務 (4/6)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

	8 修繕	9 設計・積算支援
業務名	管きよ等修繕	改築・更新工事の設計・積算支援
業務内容	管きよ、人孔、取付管、陥没対応等	改築・更新工事の実施設計
10年間の概算事業費	11億6,000万円	3億2,000万円 (国費導入予定)
概算事業量	<ul style="list-style-type: none"> ・管きよ - 6箇所/年 ・人孔 - 26箇所/年 ・取付管 - 52箇所/年 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計7回分

05 現状で想定する事業スキーム(案)

管路の対象業務 (5/6)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

「11利用料金収受」は対象外

	10 更新工事	12 緊急対応
業務名	改築・更新工事	住民対応
業務内容	人孔蓋交換、管更生、管更新	現場確認、緊急清掃、TVカメラ調査等
10年間の概算事業費	102億3,800万円 (国費導入予定)	1億円
概算事業量	<ul style="list-style-type: none">人孔鉄蓋交換 - 120箇所/年管更生・管更新 - 11km/10年	<ul style="list-style-type: none">緊急清掃・TVカメラ調査等 - 50回/年 (2,800m/年) <p>(※電話受付業務は今後検討)</p>

05 現状で想定する事業スキーム(案)

管路の対象業務 (6/6)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

13 敷地管理	
業務名	敷地管理
業務内容	管理用地の除草
10年間の概算事業費	4,000万円
概算事業量	・19,158㎡/年（6箇所・3回/年）

05 現状で想定する事業スキーム(案)

事業内容

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

官民連携方式	管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）
事業期間	10年間
対象処理区	全処理区 または 一部処理区
対象施設	すべての施設 または 一部の施設
対象業務	〈ポンプ場・マンホールポンプ〉更新支援型 〈管路〉更新実施型 または 更新支援型

05 現状で想定する事業スキーム(案)

事業スキーム例

※スモールスタートの例
(北多摩一号処理区)

※事業内容は、皆様からのご意見も踏まえて決定していきます

項目 \ 施設	ポンプ場・マンホールポンプ		
	北多摩 一号	北多摩 二号	多摩川 上流
	施設なし	P場 - 1箇所 MP - 3箇所	P場 - 2箇所
1 統括管理	—	×	×
2 運転(施設)管理	—	×	×
3 保守点検	—	×	×
4 廃棄物処理	—	×	×
5 ユーティリティ調達・管理	—	×	×
6 調査	—	×	×
7 改築計画案作成	—	×	×
8 修繕	—	×	×
9 設計・積算支援	—	×	×
10 更新工事	—	×	×
11 利用料金収受	—	×	×
12 緊急対応	—	×	×
13 敷地管理	—	×	×

対象処理区

管路		
北多摩 一号	北多摩 二号	多摩川 上流
管きよ 14,001m	管きよ 363,442m	管きよ 130,514m
●	×	×
●	×	×
●	×	×
●	×	×
—	—	—
●	●	●
●	●	●
●	×	×
×	×	×
×	×	×
×	×	×
×	×	×
×	×	×

対象処理区

01 はじめに

02 立川市下水道事業の概要

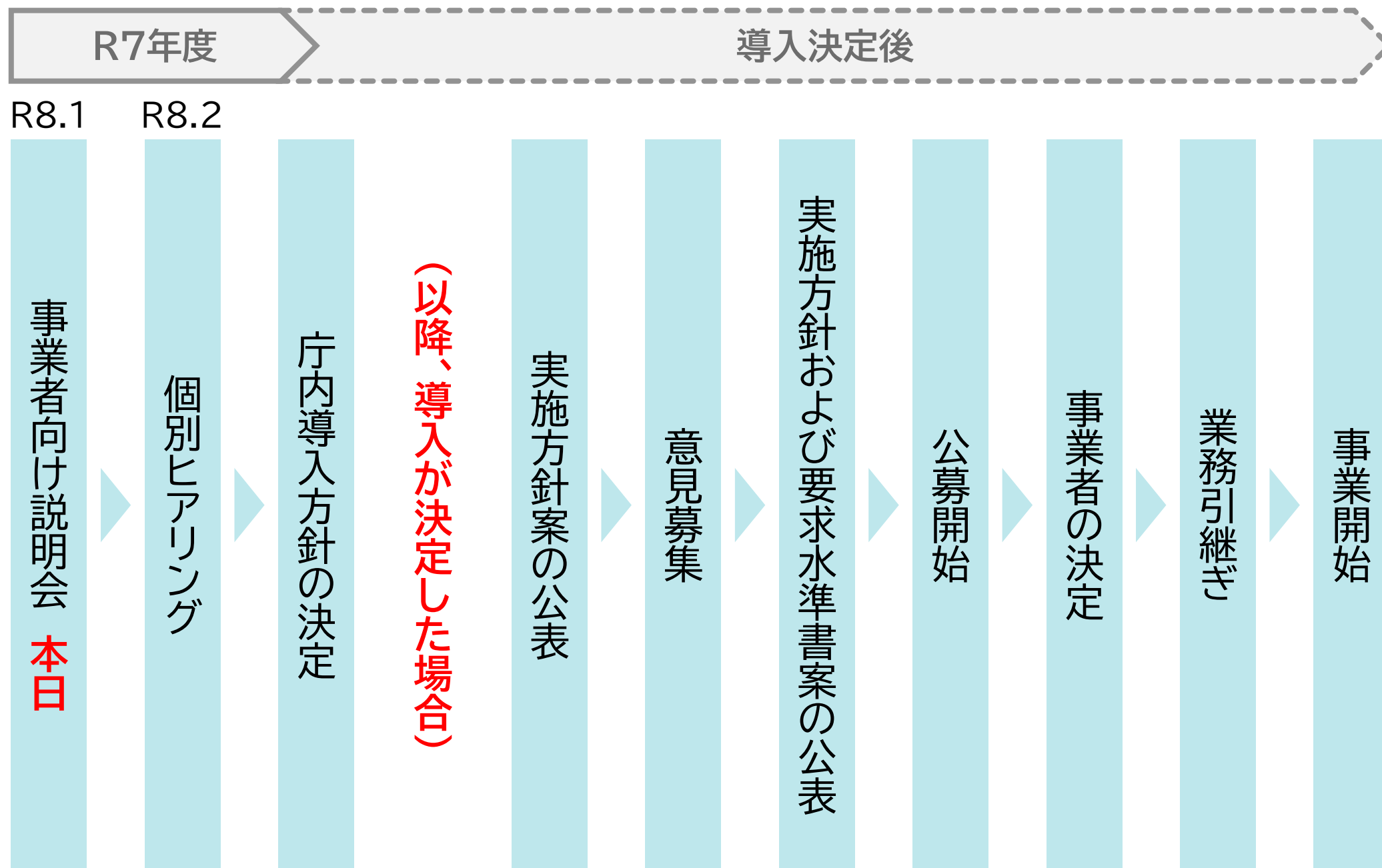
03 立川市下水道事業の現状と課題

04 ウォーターPPPの概要

05 現状で想定する事業スキーム(案)

▶▶ 06 今後のスケジュール(案)

06 今後のスケジュール(案)



アンケートへのご協力を お願いいたします。

回答フォームにご入力の上、
2月5日(木)まで にご回答をお願いいたします。

-----〈 回答フォーム 〉-----

<https://logoform.jp/form/yY6d/1392567>





ご清聴ありがとうございました

